

竜雲舜虹苑は地域の皆様の心と心をつなぐ虹の懸け橋でありたいと願っています。

お盆について

「お盆」は、亡き御先祖の霊を我が家に迎え、お供え物を供養し、亡き人々とともに過ごした後、再びお浄土に送る行事で、正しくは「盂蘭盆会」といいます。七月に行う地方もありませんが、香川県はもちろん、月遅れの八月に行います。

お盆の行事の起源は「盂蘭盆経」というお経に説かれています。お釈迦様の弟子に、目連さんという神通力（＝超能力）に秀れた方がいました。ある日、目連さんはその神通力で、今は亡きお母さんが極楽でどのように過ごしておられるかと思ってお覧になったところ、お母さんは極楽にはおられず、餓鬼道に堕ちて苦しんでいました。お母さんは骨と皮にやせ衰え、あさましい姿をしていました。

「あの優しく美しかったお母さんがどうして餓鬼の世界に堕ちたのか？」と思いながら目連さんはお母さんに食事を差し上げましたが、食物は炎と変じて、食べることはできませんでした。

何とかお母さんを救いたいと思った目連さんは、お釈迦さまに相談しました。するとお釈迦様は、「お前のお母さんは、お前が可愛いあまり、他人への思いやりが無くなり、他人に施すことが無かった罪で、いま餓鬼道で苦しんでいるのだよ」と仰いました。目連さんは「お母さんが餓鬼道に堕ちたのは、この「私」がいたからだ。私がお母さんを餓鬼にしたのだ」と気づきました。「子ゆえに迷う親心」とか「子を思う心の闇」と申します。

さて、お釈迦様は、「七月十五日に、九十日間の修業を終えた僧たちに飲食を供養し、亡世の父母のために回向をたのみなさい。そうすれば、その功德によって、お前のお母さんの罪業も除かれ、救われるであろう」と説かれました。そこで目連は教えの通りにすると、お母さんはたちまち救われたということです。

お盆の期間中は、ご先祖の方々に感謝を込めて、丁寧にご供養くださいますように。

# 訪問介護事業所 竜雲舜虹苑

## ヘルパー紹介



桎木 明美



池田 純子



赤澤 敏子



翠 綾子



片山 郁子



荒川 美奈

利用者様A様とは10年以上のお付き合いです。毎回ヘルパーが訪問するのを楽しみに待っていて下さっています。その中でも一番の楽しみは、おしゃべりです。調理中も掃除中も入浴介助中も日々あった事で話はつきません。今日の献立は、天ぷらとお味噌汁、ご飯です。体を気遣っての薄味です。大好物は、里芋の煮物。今から里芋の季節を楽しみにしているようです。

### ヘルパーだより

訪問介護事業所はケアマネージャーのケアプランをもとに、ご利用者様のお宅に訪問し掃除・洗濯・調理などの生活援助や入浴・排泄・食事などの身体介護を行っています。竜雲舜虹苑のヘルパーは6名のうち4名が介護福祉士の資格を持っています。介護だけでなく、家事の経験も豊富です。ご利用者様だけでなく、ご家族様のご意見を伺い、自宅での暮らしを長く続けることができるように、お手伝いさせていただきます。

### ヘルパーとは



### ◆地域交流ホールご利用の案内◆

ケアハウス竜雲内にある地域交流ホールは、会議、会合、クラブ活動、同好会などにご利用できます。



担当 … 大本  
TEL:087-888-5800

介護のことでお困りありませんか？  
ささいなことでも結構です。  
お気軽にご相談下さい。

竜雲舜虹苑老人介護支援センター  
電話：087-889-1091  
受付時間  
(平日 8時30分～17時30分)

### 社会福祉法人竜雲学園 竜雲舜虹苑

特別養護老人ホーム  
短期入所サービス  
通所介護サービス  
認知症型通所サービス  
訪問介護サービス  
老人介護支援センター  
ケアハウス

〒761-8078  
高松市仏生山町甲 3100 番地 2  
TEL:087-888-5800  
FAX:087-889-1004

